



# 優 秀 賞

設計部門



## エフピコアリーナふくやまのランドスケープ 新たな原風景の創出

### 彦山・芦田川の故郷風景に市民が賑う、エフピコアリーナふくやまのランドスケープ

株式会社現代ランドスケープ  
西辻俊明・石井佑介（元所員）  
株式会社梓設計  
外山博文・石井衣利子  
今川建築設計  
今川忠雄

競馬場跡地の全体構想「水と緑に包まれた健やか・未来ふくやま創造交流拠点」の先行事業であることを踏まえ、故郷風景に抱かれた体育館・公園を舞台に、多くの人々が集い交流する、

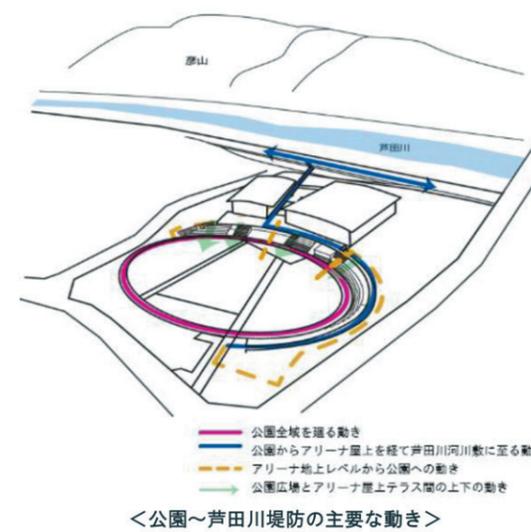
福山の未来を築く先導的役割を果たせる環境形成を目指した。  
①「新たな故郷風景をつくる」→山並みや河川空間の雄大な風景と一体となったランドスケープ形成  
・これまで親しまれてきた彦山や芦田川の風景に、体育館と公園から生まれる施設や市民の活動が重ることにより、世代間に継承・育まれてゆく故郷風景を生み出す。  
・計画地内外に、より多くの市民が楽しめる舞台を設け、背景の自然と市民の活力ある賑い風景が幾重にも重なるシーンを展開する。

### 作品概要

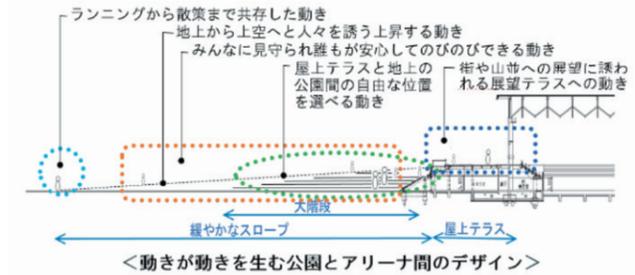
作品名——エフピコアリーナふくやまのランドスケープデザイン  
～新たな原風景の創出～  
所在地——広島県福山市千代田町1丁目1-2  
発注——福山市  
ランドスケープ設計——株式会社現代ランドスケープ  
建築設計——株式会社梓設計  
建築監理——株式会社梓設計  
施工——公園/鴻池組・佐々木建設・三谷建設共同事業体  
建築/清水建設・富士建設・松原組(仮称)福山市総合体育館  
建設工事共同企業体  
設計期間——2015年11月～2017年3月  
施工期間——2017年9月～2019年12月  
規模——約5.08ha  
主要施設——公園/ゲート、休憩所、トイレ、芝生広場、周遊園路、複合遊具、地下調整池  
建築/アリーナ(地上2階、建築面積/13870m<sup>2</sup>、延床面積/50800m<sup>2</sup>)  
クライミングウォール、連絡橋(対芦田川緑地)、大階段、駐車場、調整池

### 作品評

本作品は、福山市の芦田川沿いに位置する市営競馬場跡地に整備されたアリーナと公園のランドスケープ及び建築設計の業務である。スポーツ体験や健康づくりの場であるとともに市民の交流拠点として整備され、スポーツ・レクリエーションに加えて、周辺との動線的なつながりを考慮したウォーキング、家族で楽しむことができる遊びの場やイベント・文化的活動など、多様なアクティビティに対応できる空間構成を実現している。  
郷土の風景の中に加わった人工的な施設であることを意識した配置計画とデザイン検討がなされ、応募者が意図したとおり、山並みの連なりや開放的な河川空間を再認識する一体的な風景が創出されている。利用者が移動しながら見える近景づくりも考慮され、多彩なシーケンスを展開している。また、軸線と円形大階段での照明の演出により、河川や道路のラインがアリーナと連続しているように見え、山並みを背景にして浮かび上がる印象的な夜間景観を形成するなど、これらの景観デザインが高く評価された作品である。



＜公園～芦田川堤防の主要な動き＞



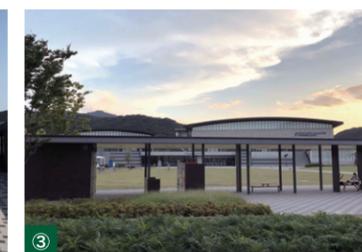
＜動きが動きを生む公園とアリーナ間のデザイン＞



①



②アリーナから芦田川堤防へ至る川辺の風景



③公園・アリーナが一体となった賑い



④エントランス付近からアリーナ・山並み方面の景観

②「街と山・川をつなぐ」→街なかから山並み・河川の自然環境まで、一体連続的な活動舞台を形成  
・福山市の市街地と背景に広がる山並みや芦田川等自然環境の間を、公園やアリーナ屋上を中心とした市民の運動や楽しみ場のとし、街と自然の一体連続化を図る。  
・これら公園・アリーナに、休憩・運動・散策・休憩・観覧・展望等多様な活動の場を設け、いつも市民が自然を感じながら、スポーツ・レクリエーションに親しみ健康や楽しみの活動を繰り広げられることのできる場とする。

③「スポーツに参加し・見て楽しむ」→アスリート～市民の軽運動・遊びまで幅広い交流が生まれるスポーツと楽しみが融合した環境形成  
・アスリートによるスポーツから市民による健康運動や遊びまで、幅広く市民が集い楽しむことのできる環境づくりを図る。  
・スポーツや遊びに主体的に参加することに加え、観覧をはじめこれら活動の様子を見て楽しみながら、テラスでの休憩・展望やジョギング等活動を展開できる相乗効果の高い環境を提供する。

設計部門